

ポラロックⅡ型

ポーラス大型ブロック ポラロックⅡ型



ポラロックⅡ型の特長

従来の積（間知）ブロックと比較し、1㎡当たり2個使用のため施工性に優れ、省力化が図れます。また、基礎ブロック「eベース型」と併用すればさらに省力化できます。

ポーラス構造控厚35cmの積ブロックで、従来の積（間知）ブロックと同等以上の壁体質量と強度を有しています。

本体と同じ模様の「調整パネル」があるので、天端や延長調整の現場打ちによる調整部分の景観性に優れています。

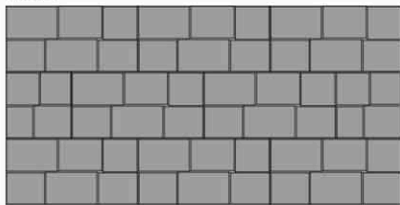
「美しい山河を守る災害復旧基本方針」護岸ブロック留意事項※1の表面の景観パターンを改良し、ブロック目地と石模様の目地が区別しにくい配列および目地幅とすることで、景観と調和するパターンとしました。

※1 護岸ブロック留意事項

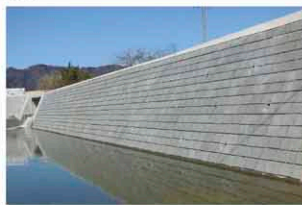
項目	判定	備考
明度	○	4.0程度(6.0以下)
彩度	○	無彩色
テクスチャー	○	ポーラスコンクリート
パターン	○	素材の大きさ20cm～40cm



配列図



写真



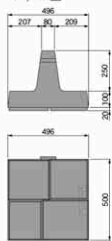
ブロック目地と石模様の目地が区別しにくい配列および目地幅とすることで、景観と調和するパターンとしました。

単体図

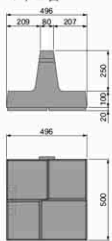
標準型



1/2左

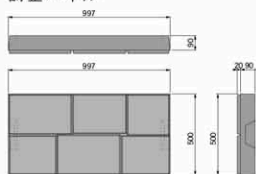


1/2右



※正面から見て、基本の左側につながるものを「左」、右側につながるものを「右」と呼びます。

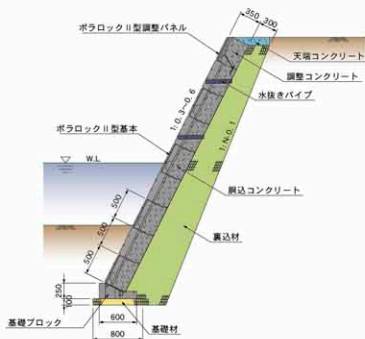
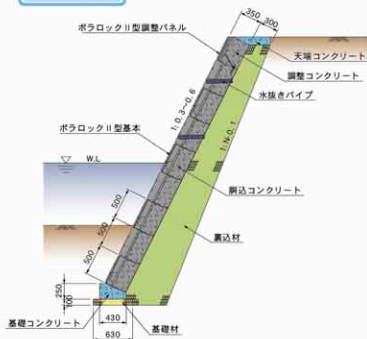
調整パネル



標準断面図

積ブロックの標準的な現場打ち基礎を使用する場合

専用基礎ブロックを使用する場合



呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)	側込コンクリート量 (m ³ /個)	使用個数 (個/m ²)	備考
標準型	181		500×1000×350(+20)	0.098	2	
1/2型	91		500×500×350(+20)	0.049	4	
調整パネル	109		500×1000×90(+20)	0.132	2	

製品明度

平均明度	3.5
証明書番号	0236号

ポラロックⅡ型 レベル積

ポーラス大型ブロック ポラロックⅡ型

レベル積

ポラロックⅡ型 レベル積の特長

1:0.5分勾配でレベル施工となり、施工性に優れます。

従来の積（間知）ブロックと比較し、1㎡当たり2個使用のため施工性に優れ、省力化が図れます。また、基礎ブロック「eベースS型」と併用すればさらに省力化できます。

ポーラス構造控厚35cmの積ブロックで、従来の積（間知）ブロックと同等以上の壁体質量と強度を有しています。

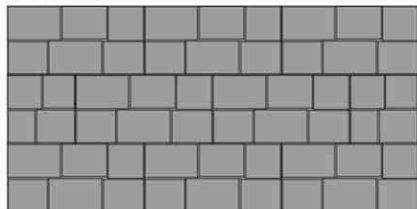
本体と同じ模様の「調整パネル」があるので、天端や延長調整の現場打ちによる調整部分の景観性に優れています。

「美しい山河を守る災害復旧基本方針」護岸ブロック留意事項※1の表面の景観パターンを改良し、ブロック目地と石模様の目地が区別しにくい配列および目地幅とすることで、景観と調和するパターンとしました。

※1 護岸ブロック留意事項

項目	判定	備考
明度	○	4.0程度 (6.0以下)
彩度	○	無彩色
テクスチャー	○	ポーラスコンクリート
パターン	○	素材の大きさ20cm～40cm

配列図



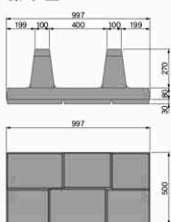
写真



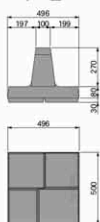
ブロック目地と石模様の目地が区別しにくい配列および目地幅とすることで、景観と調和するパターンとしました。

単体図

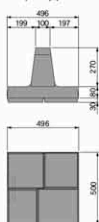
標準型



1/2左

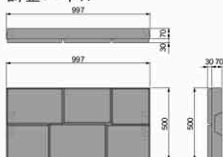


1/2右



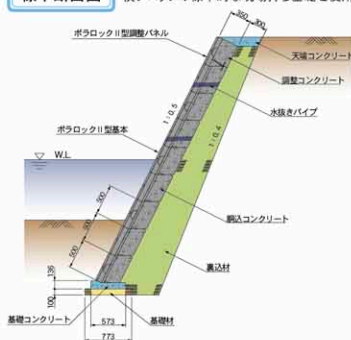
※正面から見て、基本の左側につながるものを「左」、右側につながるものを「右」と呼びます。

調整パネル

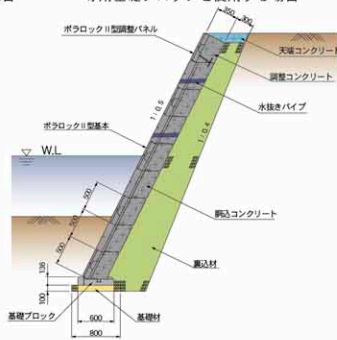


標準断面図

積ブロックの標準的な現場打ち基礎を使用する場合



専用基礎ブロックを使用する場合



呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)	胴込コンクリート量 (m ³ /個)	使用個数 (個/m ²)	備考
標準型	176		500×1000×350(+30)	0.101	2	
1/2型	88		500×500×350(+30)	0.051	4	
調整パネル	95		500×1000×70(+30)	0.141	2	

製品明度

平均明度	3.5
証明書番号	0236号